

輸送動向について（平成24年度第1－四半期）

平成24年7月

1. 輸送概況

第1－四半期は、4月に低気圧の接近に伴う輸送障害が発生したほか、6月の台風4号の上陸など自然災害の影響を受け、高速貨343本、専貨24本が運休した（前年同期間は、高速貨1,845本、専貨96本が運休）。

荷動きについては、5月以降、円高や欧州政府債務不安による輸出産業の販売減の影響を受けたものの、東日本大震災からの復旧に伴い企業の生産活動は回復しており、全体では前年を上回って推移した。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、自動車部品など全ての品目が前年を上回り、全体では前年比110.9%となった。紙・パルプは前年、震災により東北地区の製紙メーカーが被災したため本年は増送となった。また、自動車部品は震災以降減産が行われた自動車が、販売増を受け増産体制を継続しており大幅に増送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など全ての品目が前年を下回り、全体では前年比91.1%となった。石油は価格の急騰に伴う需要の減少とその後の値下がりを見越した買い控えにより大きく減送となった。セメント・石灰石は工場の定期修理に伴い減送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,969	4,482	110.9%
車扱	1,864	2,046	91.1%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	344	322	22	106.8%
	化学工業品	490	454	36	107.9%
	化学薬品	354	350	4	101.1%
	食料工業品	793	764	29	103.8%
	紙・パルプ	728	574	154	126.8%
	他工業品	415	333	82	124.6%
	積合せ貨物	502	498	4	100.8%
	自動車部品	240	152	88	157.9%
	家電・情報機器	121	111	10	109.0%
	エコ関連物資	101	81	20	124.7%
	その他	881	843	38	104.5%
コンテナ計	4,969	4,482	487	110.9%	
車扱	石油	1,257	1,369	-112	91.7%
	セメント・石灰石	248	288	-40	86.1%
	車両	164	208	-44	78.9%
	その他	197	181	16	108.9%
	車扱計	1,864	2,046	-182	91.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）